伊勢参詣の歴史が刻まれる御師の邸

特典非営利活動法人
旧御師丸岡宗大夫邸保存再生会議【三重県伊勢市】

テーマ
神領伊勢の記憶
「旧御師・丸岡宗大夫邸」保存活用事業

活動に至った理由や背景

伊勢市の大内町田地区は地方都市の特徴である市場の所在や、歴史文化を基盤にした地域のつながりが見られる街をめぐる地域の特性を活かすことで、伊勢市のまちづくりモデルを推進しています。また、地域の文化を守るために保存活動を行うことで、市民生活の質向上と地域文化の活性化に貢献し、地域住民の間の交流を図ることが目的としています。
活動内容

会を設立し、市民をはじめ多くの方の共感を得るためにソフマビーフードの西田に活動をすることにしました。

○建築の維持のための環境改善活動

市民と行政の共感を得るためには、西田に住む第一に住居の雑草をなくすように、これ以上
囃まないようにすることとし、安全に見てもらえるようにすることが大切であると考え、環境改善
活動に取り組むことを決意しました。実際に建築の里に環境改善
活動の協力を依頼し、職業仲間が合意のある状態
を築き、大工の皆さんにも協力を依頼し、緊急避
難場所の整備、外壁の補修をお願いしました。
また、私たちで出来ること、特に不用品の片
付けと外壁の整備など時間を決めて行ってい
ます。これでは一気にして破壊されないという
解釈を生かした活動です。

先の良い活動は二三日では繰り返し、じっくり
やることが大事です。繰り返し行っている中で、また
建築会メンバーとやる都市計画と共にある障害をして
もらうことにによって、だんだん見やすくなり
現在がなされてきました。職業仲間や友の補
修などは街角屋（重機設営、大工、電気設備）に
も協力してもらい、普通の町ながら大変さないく
らいまでになりました。それでもまだ様々な課題で
すが、少しでも活用できるところからでも使える
ようにしようと、再建の応急対策が出来た長
屋周り部分を重ねて解体し、壁を背にして用
げたのはのことでした。これで極めることができる場面が確保でき
るようにになり見せる形で改修が実施できることに
なりました。

何となく古い間仕切られた道、そしてト
キに不用品のものを分類しながら片付
ける作業を繰り返しています。

最初に内部の片付けに入ったときに築の中にか
ら偶然見つけたご自身の古文書は非常に貴重
なもので、もう環境改善に限らずのものだったこと
の資料はなくなっていたみたい。私達の活動が
間違いないことを確認しました。これをきっかけ
に、私達が環境改善作業に入ることがに三重県
立建築物の学芸員のうちもう一度見られたいとい
うこと故に皆さんに参加してもらいました。その後、
譲られた資料を建築講座等に入ることになり、
地元の大学生も参加して行っています。まだ
まだ環境改善活動は必要であり、自分達で
できる範囲は限られていますが、建築会、建築
会という組織の力があるからこそ大切にして専門家
の協力を得ながら進めています。手伝う活動には
ないですが、歴史的な宿題が大きい 책aceousの保存
再生には一番重要な活動の一つです。
○旧領部 丸亀市大志田の産物見学

歴史的遺産保存としての価値が高いこの産物は、旧領部で唯一、当時の位置に残存していて安芸の
土地で被災し12年後の慶 Hogen 2 (1686年)、門、台
所、住居を構え、土俵に養われています。建築
的な価値についてはもっとも深い努力をしていく必要
があります。

旧領部と呼ばれる地域が終焉した後、住居として
使用され、何度かは改修されて現在に至っています。
その22世紀の歴史的な揺らぎの中で風雨や自然の影響を
ともに、建築の歴史を踏まえ、昭和の活字活版に当
たって改修に当たった資料の保存を目的として
取り組みました。

建築士会メンバーを中心に4名の調査団を構成し、現地調査を行い、当会議のメンバーとともに解析
を行いました。現在、解釈結果を登録する文化財の認
定や、資料の保存活版のための基礎資料として
活用することとしています。

中でも今後の読者に学生時代に古建築の調査観
察のある子供時代の作者の方も参加し、また小
学生で土曜日に調査に同行しても歴史を学べたこと
は予想外の出来事でした。興味を持って頂いたよ
くて良い機会をもってたと思います。

昨年開催の第3回伊勢志の資料活用を考える面会、写真、
絵本などから新聞紙の鉄塔から資料活用の一例です。大変な
研究の方法の中には6000人以上に収益活用を
持つものなどもあり、かつての私たちが想い
推進できます。伊勢の価値が大いなる構築であり、
世界中であることならびに伊勢志の価値もかな
なりなる価値を超われています。

また色々な産物が時として客観として保存のため
産物を保存するために、今後活用を図っております。今後の方々の関与に
期待を感じています。
○保存活動ワークショップ及びミニフォーラムの開催

保存活動の方向性を学び、市街の地域の理解を深め、実践の研修を進めることで市街の現状を改善し、活動の充実化を図ることを目指しています。

保存活動のセミナーを開催し、参加者に保存活動の意義と手法を紹介しました。参加者は、現状の保存活動の理解を深め、自分自身の保存活動をのぞみ、参加者が保存活動に興味を持ち、活動を推進することができるようにする予定です。

○フィールドの保存活動

フィールドの保存活動では各地の御府との違いや建物の歴史的価値についての解説を行いました。市街の歴史を理解し、現状の保存活動についての理解を深めるために、保存活動の意義と手法を紹介しました。参加者は、現状の保存活動の理解を深め、自分自身の保存活動をのぞみ、参加者が保存活動に興味を持ち、活動を推進することができるようにする予定です。

○伊勢市行政への働きかけ

市街の保存活動の意義を再認識するとともに、市街の保存活動を推進するためには、市民の理解と関与が必要です。市民の理解と関与を高めるために、市街の保存活動の意義を市民に理解してもらうことが必要です。市民の理解と関与を高めるために、市街の保存活動の意義を市民に理解してもらうことが必要です。

・保存活動の意義は、市街の歴史的価値を守ることであり、市街の保存活動の意義を市民に理解してもらうことが必要です。市民の理解と関与を高めるために、市街の保存活動の意義を市民に理解してもらうことが必要です。

市街の保存活動の意義を再認識するとともに、市街の保存活動を推進するためには、市民の理解と関与が必要です。市民の理解と関与を高めるために、市街の保存活動の意義を市民に理解してもらうことが必要です。市民の理解と関与を高めるために、市街の保存活動の意義を市民に理解してもらうことが必要です。
今後の予定

今年一月活動を行ったことから、さらなる環境改善活動を進め、地域の皆様がより良い環境に住むことができるよう努めることを目指しています。

今後の取り組みでは、

- 資源の適正な活用であることが基本的な環境改善活動であることを念頭に留意すること。
- 丸ごと市営団地の内で実施される環境改善活動への参加を進めること。
- 全体としては、今年度の活動を通じて、地域の皆様がより良い環境に住むことができるよう努めることを目指します。